

三浦半島地域連合議員団会議・神奈川県動物愛護センター & 平塚市自動運転バス実証実験を視察!

三浦半島地域連合議員団年一回の地域外視察を11月10日から11日にかけて行い、議員団11名、地域連合役員2名、合計13名で参加しました。1日目に神奈川県動物愛護センター、2日目に平塚市役所を訪れて自動運転バス実証実験を視察しました。



1日目の神奈川県動物愛護センターは昭和47年に『神奈川県犬管理センター』として設立され、当初は処分場として運営しましたが、動物愛護の機運の高まりとともに処分から保護・管理へと移行し、平成26年には犬の殺処分ゼロ、平成27年には猫の殺処分ゼロを達成しました。そして令和元年に現在の『神奈川県動物愛護センター』に生まれ変わり、動物処分をする施設から行かすための施設となりました。この施設では、飼育放棄をなくしたい、動物を飼いはじめたら最後まで責任をもって飼育することを訴えていました。飼育放棄は多頭飼育崩壊や高齢者で飼育が出来なくなってしまうなど多いとのことでした。テレビなどでも放映していますが、一度飼育をはじめたら、人間が最後まで飼育責任を担うことが重要です。



飼育放棄をなくしたい、動物を飼いはじめたら最後まで責任をもって飼育することを訴えていました。飼育放棄は多頭飼育崩壊や高齢者で飼育が出来なくなってしまうなど多いとのことでした。テレビなどでも放映していますが、一度飼育をはじめたら、人間が最後まで飼育責任を担うことが重要です。



2日目は平塚市を訪れて、平塚市がおこなっている『自動運転バス実証実験』を視察しました。バス運転士の不足によるバスの減便は全国そして三浦半島地域でも大きな課題となっており、三浦半島地域連合の政策・制度要求と提言でも三浦半島4市1町に訴えかけを行っています。

三浦半島地域でも大きな課題となっており、三浦半島地域連合の政策・制度要求と提言でも三浦半島4市1町に訴えかけを行っています。

今後更にバス減便は加速していくことが予想される中、自動運転バス運用は対策の大きなカギとなってきます。まだ実証実験段階ではありますが、今回学んだことを三浦半島地域にも展開をしていきます。



今回の視察は動物愛護やバス減便対策などを中心に学ぶことが出来ましたが、この視察を活かして、三浦半島地域連合の政策・制度要求と提言の充実や実現に、議員団との連携を強化して取り組んでいきます。